

③ 西初石小鳥の森

生資料 2-3



かつては市野谷の森にあった谷津とつながる大畔北谷津に位置する森。野鳥観察の散策路が整備され、ヘイケボタルが自然繁殖していることから、市民に親しまれ散策や観察会などが多く行われる場所である。

環境タイプ

谷津 斜面林 湧水 湿地

(地権者)

公有地・民有地

(所管)

流山市役所みどりの課(維持管理は市内自然保護団体に委託)

(市民的視点)

遊歩道の途中にベンチが設置されていることや、植物名が記載されているプレートが要所に設置されているため、市民が立ち入りやすく、自然に触れやすい環境になっている。水辺には展望スペースがあり、自然観察をするための環境づくりもされている。また、自然保護を促す看板も設置されている。(市内自然保護団体の所有)

(評価結果)

【◎】

市内の自然保護団体が維持管理に携わっているため、環境に合った保全や整備が施されている。保全に取り組むにあたっては協力や意見を貰いやすい。(モニタリング調査員の中にも当該自然保護団体に所属している方が複数名いる。)
また、市民団体や近隣の学校の行事として、ホタルの放流を実施していることから、市内でも有数のホタルが観測できる重要な箇所であり、保全に積極的に取り組むべきであると認識している。